

後援会だより

北海道教育大学釧路校

HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION KUSHIRO

〈第27号〉

発行 令和6年3月15日



オープンキャンパス入場開始の様子※制限なしの開催は4年ぶり

目次

●ご挨拶（学生へのメッセージ）

チーム釧路校として

北海道教育大学釧路校後援会会長 蛭田 眞一… 2

釧路校同窓会組織「鶴陵会」から

北海道教育大学鶴陵会（釧路校同窓会）会長 室山 俊美… 2

●キャンパス長挨拶

「地域と関わりながら活躍できる

実践力をもった教員の育成」に向けて

北海道教育大学釧路校キャンパス長（名誉会長） 越川 茂樹… 3

●就職状況等

キャリアセンター釧路校センターの取り組み… 4

令和5年度卒業予定者の進路情報… 6

卒業生就職状況（平成29年度～令和4年度）… 6

令和4年度卒業生の進路データ… 7

令和4年度卒業生都道府県別教員採用試験受験状況（学部）… 7

卒業生からのメッセージ… 8

●事務局から

後援会による学生支援活動… 10

釧路校教員一覧… 12

令和5年度学生サークル等一覧… 13

令和5年度後援会予算書… 14

令和4年度後援会決算書… 14

令和6年度釧路校年間行事予定表… 15

令和5年度後援会役員名簿… 16

編集後記… 16

● ご挨拶（学生へのメッセージ）



令和5年度は、会員の皆様にとってどのような1年でしたでしょうか。学位授与式に臨まれる学生の保護者の皆様には心からのお祝いを申し上げます。

今年度は、まだコロナ禍の影響を残しながらも、望ましい大学生活が創造されつつあるのではと感じました。大学祭で露店やステージ活動などで楽しげに動き回る学生たちをうれしく眺めてきました。大学全体では多様なそして新たな活動が1年を通してあったであろうことが想像できました。釧路校の学生の皆さんはこの1年、きっと充実した学生生活を過ごしてきたのだと思います。ですから活動の中心にあった卒業される皆さんのこれからの活躍を楽しみにしたいと思います。

さて、甚大な自然災害や社会の出来事に、心を痛めたり、いら立ちを覚えたりと心穏やかに過ごすことが難しい状況が続いています。一方で、様々な分野で若い人たちの活躍が報じられ、社会に光を投じていることが救いに思えるほどです。複雑な問題や課題が山積する状況にあって、釧路校で学ぶ学生たちが、自ら考え行動できる、思いやりの心をもった人間として成長することを願って、チーム釧路校の意識で連携を取りながら教職員の皆さんや関係する人たちが奮闘しています。

後援会として記すべき学生支援を一つ挙げます。削減が常態化している大学への予算措置の中で、本会の予算書に示してありますが、今年度は後援会として「新入生研修のバス借り上げ補助」として約70万円を計上しています。また「教育フィールド研究補助」として同じくバス借り上げ補助として80万円を上乗せしています。釧路校の特色ある教育活動への支援です。

最後に、会員の皆様には、継続的なご協力に感謝申し上げます。学生生活がより充実したものとなるよう引き続き後援会として最大限の応援をしたいと思っております。今後とも後援会活動に理解とご支援をお願い申し上げます。



北海道教育大学釧路校の同窓会、「鶴陵会」会長の室山と申します。新たに後援会員となられました皆様に、心からお祝いを申し上げます

釧路校の卒業生で組織している「鶴陵会」は、昭和26年3月15日、北海道学芸大学釧路分校の2年課程を修了した41名の先輩たちによって創立された同窓会です。鶴陵会は北海道教育大学五校の中で一番新しく設立された同窓会であり、他の同窓会に少しでも追いつくために、設立当初より諸先輩は苦勞しながらも結束して研修、親睦に力を入れてきたと聞いています。

同窓会の意義は、三つあります。一つは、同窓の絆を深めることです。卒業後、それぞれの地域、職場に離れてしまっても、「同窓」のひと言で、一気に心は母校の思い出でいっぱいになります。二つ目は、母校に対しての還元です。「母校（同窓会）が自分たちに何をしてくれるのか」を望むのではなく、「母校（同窓会）に対して自分たちは何ができるのか」を考え、母校に対して何か一つでも役立つことを探してほしいと思います。三つ目は卒業生に対しての還元です。卒業後の人脈づくりや様々な情報の提供、共有などは非常に重要な意味を持ちます。

これまで母校を修了・卒業された方々は、15,000名を超えますが、現在教員を主として活躍している鶴陵会員は道内20支部に合わせて約2,000名で、時代を担う子どもたちや地域の教育、文化の振興に尽力しているところです。各支部では、鶴陵会の指針である「研修・親睦・奉仕」のもとに様々な活動を展開しています。

教員採用試験については、鶴陵会本部も大学と連携しながら、3年生には過去の出題例や予想問題を提示し、4年生には本番を想定した面接や模擬授業等を実施しています。合格率は道内でトップですが、学生にはさらに一層の奮闘を期待しているところです。

これからも鶴陵会は、母校の応援団として後輩である学生の育成に努めていきたいと思っております。後援会の皆様には、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

● キャンパス長挨拶



「地域と関わりながら活躍できる 実践力をもった教員の育成」に向けて

北海道教育大学釧路校キャンパス長(名誉会長)

越川 茂 樹

日頃より後援会の皆様には、釧路校の教育活動へのご理解とご支援を頂き、ありがとうございます。

令和5年10月1日付でキャンパス長に任命されました越川茂樹と申します。保健体育科教育担当教員として平成25年4月に着任し、今日まで11年に及ぶ勤務となりました。目下微力ながらキャンパス運営に取り組んでいるところでございます。

この原稿を令和5年の年末に依頼され年明けから執筆を、と思っていたところに心痛極まりない出来事が起こりました。令和6年能登半島地震です。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復旧・復興を願っております。本校におきましても、石川県、富山県、福井県、新潟県出身の学生が在籍しております。幸い学生本人とご家族の無事は確認されております。とはいえ、釧路地域も決して他人事ではありません。特に地震災害については十二分に備えることが重要であると考え、現在本校では、改めて対策の確認・見直しを進めています。

さて、本校では、「地域と関わりながら活躍できる実践力をもった教員」を育成することをめざしています。ここでいう「実践力」とは、子どもを理解し学校生活全体において指導・支援できる実践力、子ども一人ひとりに応じた学習指導のできる実践力、地域（の人々）と連携しながら子どもの育ちと地域の創生に協働できる実践力です。学生たちが「実践力」を培い高められるように、とりわけへき地・小規模校教育やインクルーシブ教育、さらには小中一貫教育等の実践の場に着眼して、大学の内と外における環境整備に取り組んでいます。その際、理論に裏づけられた実践力をいかに磨いていけるかが大切であると考えています。とりわけ学ぶ内容とのかかわりにおいては、自然活動や地域の特性を活かした地域に根ざした学びやプロジェクト研究などの探究的な社会（地

域）的課題に立ち向かう学びを、そして学び方としてフィールドワークや実験、実技等を理論と関連づけながら学ぶことを充実させていくことに取り組んでいこうとしております。

以上のように本校の歩む方向を定めて学生の学びの充実に努めながら、学び手である学生一人ひとりが自らの人生をデザインすることに対する支援にも配慮した取り組みをしております。今日の複雑化する社会において生きづらさを抱えたり、不安を感じたりしている学生は少なくありません。また、本校のほとんどの学生は一人暮らしをしながら学業に励んでおります。こうした実情を踏まえて、学生のキャリア形成を、ライフキャリアの視点から支援していく体制づくりを進めております。

本校では、このような様々な取り組みを進め、地域の教育課題と向きあいながら、現状に甘んじることなく地域の教育課題に応え、地域に根を張り、地域で活躍できるような人材を育成することに努めてまいります。

おかげさまで本校の学生は在学期間中の成長が目覚ましく、教員採用試験合格率・教職就職率とも高い水準を維持しております。このような実績や大学生活を支えている大きな要因のひとつが、後援会の皆様の物心両面にわたるバックアップであります。

後援会の皆様には、今後とも釧路校の教育活動を応援して頂き、学生たちを温かく見守り、ご支援・ご協力くださるよう改めてお願い申し上げます。



● 就職状況等

キャリアセンター釧路校センターの取り組み（2024年度及び2025年度採用対策）

キャリアセンターで実施している事業は、基本的に「参加自由」です。自分の進路に合った支援を、学生自身の意志で選択し、利用できます。

1 教員志望者向け

(1)対策講座・説明会等 ◆全学センター主催（遠隔授業形式）

2024年度採用対策（4年次対象）

2025年度採用対策（2・3年次対象）

2022年度実施	
10/7	教採対策スタートゼミ
10/24～28	進路相談週間
11/2	◆東京都教員採用説明会
11/4	基礎講座①（検査の具体的な流れ）
11/11	基礎講座②（先輩からのアドバイス）
11/15	◆神奈川県教員採用説明会
11/18	基礎講座③（自己分析）
11/28	◆岩手県教員採用説明会
12/2	基礎講座④（過去問チャレンジⅠ）
12/5	◆青森県教員採用説明会
12/8	◆仙台市教員採用説明会
12/9	基礎講座⑤（過去問チャレンジⅡ）
12/12	◆札幌市教員採用説明会
12/13	◆千葉県教員採用説明会
12/15	◆福島県教員採用説明会
12/16	基礎講座⑥（個別面接）
12/16	教員採用試験大学推薦希望者説明会
12/19	◆宮城県教員採用説明会
12/20	◆横浜市教員採用説明会
12/21	◆茨城県教員採用説明会
1/11	◆秋田県教員採用説明会
1/17	◆山形県教員採用説明会
1/18	◆北海道教員採用説明会

2023年度実施	
4/5	教採対策パワーアップゼミ
4/12	重点講座①（願書Ⅰ）
4/17	重点講座②（願書Ⅱ）
4/21	重点講座③（願書Ⅲ）
5/12	重点講座④（1次対策Ⅰ）
5/19	重点講座⑤（1次対策Ⅱ）
5/26	重点講座⑥（1次対策Ⅲ）
6/2	重点講座⑦（1次対策Ⅳ）
6/9	重点講座⑧（道外対策）
6/20	教採対策ラストスパートゼミ
6/23	総合講座①（教科等指導法Ⅰ）
6/28	総合講座②（個別面接Ⅰ-1）
7/5	総合講座③（個別面接Ⅰ-2）
7/12	総合講座④（個別面接Ⅱ-1）
7/14	総合講座⑤（個別面接Ⅱ-2）
7/19	総合講座⑥（個別面接Ⅲ-1）
7/24	総合講座⑦（個別面接Ⅲ-2）
7/26	総合講座⑧（個別面接Ⅲ-3）
7/28	総合講座⑨（個別面接Ⅳ-1）
7/31	総合講座⑩（個別面接Ⅳ-2）
8/2	総合講座⑪（個別面接Ⅳ-3）
8/3	総合講座⑫（道外対策Ⅲ-1）
8/4	総合講座⑬（道外対策Ⅲ-2）

8/7	総合講座⑭（道外対策Ⅲ－3）
10/6	教採対策スタートゼミ
10/10	北海道・札幌市公立学校教員登録者説明会
10/10	北海道・札幌市臨時教員採用希望者説明会
10/23～26	進路相談週間
10/27	基礎講座①（検査の具体的な流れ）
11/7	◆神奈川県教員採用説明会
11/10	基礎講座②（先輩からのアドバイス）
11/13	◆横浜市教員採用説明会
11/17	基礎講座③（自己分析）
11/27	◆千葉県教員採用説明会
11/28	◆岩手県教員採用説明会
12/1	基礎講座④（過去問チャレンジ）
12/5	◆青森県教員採用説明会
12/14	◆福島県教員採用説明会
12/15	教員採用試験大学推薦希望者説明会
12/18	◆札幌市教員採用説明会
12/19	◆仙台市教員採用説明会
12/20	◆宮城県教員採用説明会
1/10	◆秋田県教員採用説明会
1/15	◆北海道教員採用説明会
1/16	◆山形県教員採用説明会
1/22	◆東京都教員採用説明会
1/24	◆茨城県教員採用説明会

(2)模擬試験 年3～4回（東京アカデミー）

2022年度実施	
3/4	第2回全国公開模試
4/1	第1回北海道・札幌市模試
5/13	第2回北海道・札幌市模試

※2023年度実施なし

(3)東京アカデミー教員採用試験対策講座

2022年度実施	
3月	【STEP 1】 教養試験総合対策・教科等指導法講座

※2023年度実施なし

2 公務員・民間企業志望者向け

2022年度実施	
2/17	公務員試験対策講座 ※協力：TAC札幌校
2023年度実施	
1/26	就活本格化講座（民間対策） ※協力：マイナビ
2/7	公務員試験対策講座 ※協力：TAC札幌校

3 その他キャリア支援

9月	新入生キャリア導入ガイダンス ※協力：マイナビ
後期授業	教員になるためのキャリア形成
通年	相談員による進路相談、願書・履歴書・エントリーシートの書き方指導・添削、面接・模擬授業等の指導・助言。



令和5年度（R6.3）卒業予定者の進路情報（令和6年度採用）

【令和6年1月12日現在】

公立学校教員（登録）		公務員（合格）	民間企業等（内定）
北海道	神奈川県	釧路市役所	株式会社メガ・テクノロジー
札幌市	横浜市	旭川市役所	三ツ輪商会
青森県	相模原市	秋田市役所	
岩手県	新潟県	北海道庁	
宮城県	石川県	千歳市役所	
秋田県	静岡県	音更町役場	
山形県	兵庫県		
茨城県	和歌山県		
栃木県	岡山県		
千葉市	愛媛県		
東京都			

進学先
北海道教育大学大学院 教育学研究科 学校臨床心理専攻
北海道教育大学大学院 環境科学院地球圏科学専攻 生物地球科学コース
総合研究大学院大学 統合進化科学コース

卒業生就職状況（平成29年度～令和4年度）

【令和5年5月1日現在】

学部		令和4年度 (R5.3卒業)	令和3年度 (R4.3卒業)	令和2年度 (R3.3卒業)	令和元年度 (R2.3卒業)	平成30年度 (H31.3卒業)	平成29年度 (H30.3卒業)
卒業生数		189	184	183	179	179	193
教員	正規	110	97	99	96	108	78
	臨時	27	36	26	28	24	51
	計	137	133	125	124	132	129
公務員	正規	18	10	15	20	12	16
	臨時	2	1	4	0	1	2
	計	20	11	19	20	13	18
民間企業	正規	9	18	26	17	15	23
	臨時	3	0	1	0	0	0
	計	12	18	27	17	15	23
進学	進学	17	10	9	13	6	15
その他	その他	1	8	1	0	5	5
未就職	教員志望	1	3	1	1	4	2
	公務員志望	1	0	0	1	0	0
	民間志望	0	1	1	1	1	1
	計	2	4	2	3	5	3
不明		0	0	0	2	3	0

卒業生からのメッセージ

羅臼町立春松小学校 澤田先生



振り返るとたくさん失敗した一年だったと感じます。また、失敗とともに、失敗から多くのことを学びました。たくさんの先生方に相談することの大切さや、そこから次はどうしたらよいか考え挑戦し続けることの大切さを学びました。その中で、「子どものために」何ができるのか考え実行していくことにとてもやりがいを感じます。子どもと一緒に乗り越えられた瞬間や、子どもの笑顔を見られることはとても嬉しいことです。

日々過ごしていく中で、大学で学んだことが生きていると感じます。毎日の授業を実践するにあたり、課題設定の工夫や、子どもの思考を止めない工夫は大学で理念を学んだからこそイメージが持ちやすいと気がつきました。また、大学は人生の夏休みだと思えます。だからこそたくさん挑戦し、存分に楽しんでほしいと思います。教師として一緒に働けることを楽しみにしています。

小清水町立小清水小学校 渡邊先生



現在、私は、オホーツクにある小清水小学校で1年生の特別支援学級を担当しています。母校である小清水小学校で採用されたことは、とても嬉しいことでもありますが、不安なことも多くありました。今は、周りの先生方に支えてもらいながら頑張っています。

大学生の時は、教員になるために勉強を頑張っていました。しかし、実際に教員として働くと、知識が身につけていなく、ただの勉強している「つもり」だったと感じています。勉強しておけば良かったと、とても後悔しています。教員になってから、勉強する時間は正直、十分にありません。そのため、研修に参加したり、お休みの日に、周りの先生方からいただいた本を読んだりして、勉強をしています。

大学生の皆さんへ、アルバイトや部活などで忙しいと思いますが、1つ1つの授業を大切に受けてほしいです。頑張りを積み重ねることで、必ず自分の力になると思います。自分の夢に向かって、頑張ってください。

本校では、社会で活躍されている卒業生から在学生へメッセージをいただき、各種刊行物で紹介しております。その一部を次のように紹介いたします。

青森県三戸町立三戸小学校 小石川先生



教員になったの1年目はとてもあっという間に過ぎました。普通の授業や学校行事、初任者研修、生徒指導など、多忙な日々を送っていますが、子どもたちの真剣に取り組んでいる姿や笑顔いっぱいの姿を見たり、一緒に遊んだりすることを通して、子どもたちの成長を感じ、やりがいを感じることができています。

教員になって大切にしてほしいポイントがいくつかあります。1点目は、分からないことはすぐ聞くことです。一人だけではいっこうに解決できません。分からない点は些細なことでも聞いてみるということ意識してほしいと思います。2点目は、自分の身体を大切にすることです。授業の準備は大変ですが、頑張りすぎると自分を追いこむことになり、身体にダメージがかかってしまいます。仕事量が多い職業ですが、無理をしないで取り組むことをおすすめします。

大学在学中は、様々なことを経験できるとても貴重な時期だと思います。今しかできないことにどんどんチャレンジし、教員になったときに生かしてほしいです。悔いのないような大学生活を送ってください！

釧路市立鳥取西中学校 秋里先生



不安と緊張で疲れていた4月から、約1年が経ちます。私は今、周りの先生方や保護者の皆様、何より生徒たちに支えられて充実した日々を送っています。最近では、廊下に響く生徒の笑い声が聞こえてきたり挨拶に爽やかさを感じたりと、少しずつ心にゆとりを持つことができてきています。

そんな私がこれまで働く上で大切にしてきたことは、「素直さ」です。例えば、先生方に「分からないので、教えてください。」と助けを求めたり、生徒と一緒に喜んで笑ったりすることです。自分が感じたことを「素直に」伝え続けると周りの人たちも気持ちを打ち明けやすくなるため、信頼関係作りには欠かせないと感じています。まだまだ力不足ですが、これからも「素直な」心を持った教師でありたいと思っています。

最後に、自分には教師が向いていないのかなと不安に思っている学生の皆さん、実は私もそうでした。生徒のために頑張りたいという思いがあれば、大丈夫です。教師になるために勇気を出して、一歩踏み出してみませんか。

● 事務局から

後援会による学生支援活動

後援会では、イベントやサークル活動への補助、図書購入、各所整備及び施設充実など、様々な学生支援事業を行っています。その一部をご紹介します

入学式

4月4日(火)、コーチャンフォー釧路文化ホールにおいて挙行了しました。この会場の借上げ費用を補助しています。



構内一斉清掃事業

気持ち良い学生生活が送れるように学生・教職員一斉に校舎内外を清掃しています。参加学生には飲料を提供しています。

大学祭

屋外ステージの設置や音響設備に係る費用を補助しています。



教育フィールド研究

1・2年次の必修では、毎週金曜日に朝から放課後まで学校現場で過ごします。学生を送迎するバス費用を補助しています。



教員採用試験関係資料の購入

各都道府県の教員採用試験過去問題集等を取りそろえ、キャリアセンター室に配備・活用しています。



図書購入

教育実践関係を中心に約300冊購入し、図書館に配備されております。これらの図書は毎日学生に貸し出され、授業のレポート作成・自学自習・余暇の充実等に広く活用されています。



サークル・部活動への支援・助成

活動費及び全道大会、全国大会への参加経費等を補助しています。また、物品等の購入を助成しています。



卒業記念品の贈呈

卒業生の門出を祝福し、記念品を贈呈しています



釧路校教員一覧 (令和6年3月31日現在)

専攻名等	分野名	氏名	専門	
地域学校教育実践専攻	学校教育実践分野	川前 あゆみ (教授)	へき地教育	
		境 智洋 (教授)	生活科、総合学習	
		玉井 康之 (教授)	教育社会学	
		糊澤 実 (准教授)	学級経営・学校経営	
		廣重 真人 (准教授)	情報教育	
	発達教育実践分野	小野川 文子 (教授)	教育学	
		小野川 文子 (教授)	特別支援教育	
		小 渕 隆司 (教授)	障害児心理学	
		浅井 継悟 (准教授)	教育心理学	
		田中 雅子 (准教授)	特別支援教育	
		戸田 竜也 (准教授)	発達臨床心理学	
		半澤 礼之 (准教授)	発達心理学	
		木戸口 正宏 (講師)	生徒指導、進路指導	
	地域環境教育実践分野	伊原 禎雄 (教授)	地域の生態系	
		野村 卓 (教授)	食育と環境教育	
		小林 淳一 (准教授)	教育課程と教育方法	
		宮前 耕史 (准教授)	地域文化、民俗学	
		平岡 亮 (講師)	地域のスポーツと健康	
	国語教育実践分野	佐野 比呂己 (教授)	国語科教育	
		関谷 由一 (准教授)	古典文学	
		久田 行雄 (講師)	国語学	
		吉田 勉 (講師)	漢文学	
	社会科教育実践分野	浅利 祐一 (教授)	法学	
		酒井 多加志 (教授)	人文地理学	
		中村 太一 (教授)	日本史	
		秋山 徹 (准教授)	歴史学	
		遠藤 健樹 (准教授)	倫理学	
		山元 研二 (准教授)	社会科教育	
		高崎 優子 (講師)	社会学	
		玉井 慎也 (講師)	社会科教育学	
		英語教育実践分野	梶本 顕士 (准教授)	英語学
			鈴木 健太郎 (准教授)	英語教育
	砂川 典子 (准教授)		英語文学	
	Knoepfler Christopher Alan (講師)		小学校英語	
	数学教育実践分野	関谷 祐里 (教授)	統計学	
		早勢 裕明 (教授)	数学教育	
		和地 輝仁 (教授)	代数学	
		大滝 孝治 (講師)	数学教育	
		黒川 友紀 (講師)	解析学	
	理科教育実践分野	中川 雅仁 (教授)	物理学	
		松原 尚志 (教授)	地学	
		川西 亮太 (准教授)	生物学	
		中山 雅茂 (准教授)	理科教育	
		松岡 秀人 (准教授)	化学	
		長根 智洋 (講師)	理科教育	
	美術教育実践分野	佐々木 宰 (教授)	美術教育	
		福江 良純 (教授)	彫刻	
音楽教育実践分野	鴨川 太郎 (教授)	音楽		
	小野 亮祐 (教授)	音楽教育		
	中西 紗織 (准教授)	音楽教育		
家庭科教育実践分野	鎌田 浩子 (教授)	家庭管理		
	土岐 圭佑 (准教授)	家庭科教育		
保健体育科教育実践分野	越川 茂樹 (教授)	保健体育科教育		
	白川 和希 (准教授)	健康管理学		
	山本 悟 (准教授)	運動学		
	星 裕 (准教授)	教育評価学・学習評価論		
	秋保 和久 (学校臨床教授)	学校経営		
	小澤 一記 (学校臨床教授)	学校経営		
	専門職学位課程(教職大学院)	鈴木 紳一 (特任教授)	校内研修、学校経営	
竹林 亨 (特任教授)		学校経営		
室山 俊美 (特任教授)		生徒指導、教育相談		
森 健一郎 (教授)		理科教育学		
安川 禎亮 (教授)		生徒指導、教育相談		
安井 智恵 (准教授)		学校経営		

令和5年度 学生サークル等一覧

	サークル等名 (体育系)	所属人数
1	体育会	46
2	男子アイスホッケー部	10
3	女子アイスホッケー部	16
4	陸上競技部	29
5	男子サッカー部	34
6	女子サッカー部	18
7	準硬式野球部	32
8	男女ハンドボール部	10
9	男子バスケットボール部	13
10	女子バスケットボール部	9
11	男子バレーボール部	17
12	女子バレーボール部	13
13	硬式テニス部	3
14	ソフトテニス部	12
15	男女バドミントン部	30
16	卓球部	16
17	ラグビー部	12
18	剣道部	6
19	弓道部	14
20	水泳部	27
21	フットサルサークル	15
22	バスケットボールサークル	15
23	空手道サークル	5
24	バドミントンサークル	10
25	ペタンクサークル	5
26	バレーサークル	10
27	フロアボールサークル	16
28	チアリーディング部 (beaming smile)	7
	合 計 (延べ人数)	450

	サークル等名 (文化系)	所属人数
1	ダンスサークル	22
2	学生組織委員会 (CAPT)	28
3	交響吹奏楽部	43
4	軽音楽部	55
5	茶道部	9
6	日本舞踊部	4
7	演劇集団 ウポポ	11
8	天文部	15
9	「くるかい」学生スタッフの会	3
10	放送サークル	3
11	ラーメンサークル	3
12	TedcherAide 北海道支部釧路地区	1
13	アートサークル	8
14	現代視覚文化研究会	7
15	ファッションサークル	6
16	ジャズサークル	17
17	異文化理解サークル CoCU	14
	合 計 (延べ人数)	249



男子サッカー部



女子アイスホッケー部

令和5年度 後援会予算書

収入の部

単位：円

項 目	令和5年度	令和4年度	増△減	備 考
前 年 度 繰 越	2,317,461	1,796,305	521,156	
会 費	7,200,000	7,440,000	△240,000	入会者180人×40,000円
雑 収 入	539	30	509	預金利息等
計	9,518,000	9,236,335	281,665	

支出の部

単位：円

項 目	令和5年度	令和4年度	増△減	備 考	
会 議 費	50,000	100,000	△50,000	総会、役員会及び会計監査経費	
会 報 刊 行 費	300,000	300,000	0	後援会だより印刷及び発送	
就 職 対 策 費	1,300,000	1,300,000	0	就職対策雑誌購入等	
教育フィールド研究補助費	1,800,000	1,000,000	800,000	教育フィールド研究補助（大学へ寄附）	
学 生 活 動 補 助 費	大学祭補助費	500,000	250,000	ステージ設営等	
	課外活動補助費	950,000	1,600,000	△650,000	サークル活動、遠征等補助
	地区体補助費	0	0	0	北海道地区体参加補助（R5実施なし）
計	1,450,000	1,850,000	△400,000		
学 生 厚 生 費	900,000	900,000	0	卒業祝賀会経費、同窓会入会費	
学 生 函 書 費	700,000	700,000	0	学生教養図書費（大学へ寄附）	
学 生 健 康 診 断 費	700,000	750,000	△50,000	学生定期健康診断費	
学 生 研 修 補 助 費	755,000	50,000	705,000	新入生研修補助（バス借上げ、昼食）	
学 生 環 境 整 備 費	400,000	1,400,000	△1,000,000	講義室の備品等整備、コロナ対策等	
国 際 交 流 費	300,000	300,000	0	国際交流事業資金（大学へ寄附）	
行 事 費	200,000	50,000	150,000	入学式会場借上げ、構内一斉清掃関係費	
渉 外 費	100,000	100,000	0	教育関係機関等との連絡渉外費	
計	8,955,000	8,800,000	155,000		
事 務 費	50,000	50,000	0	事務用品、封筒印刷等	
雑 費	50,000	50,000	0	協賛金等	
予 備 費	463,000	477,000	△14,000	予備費	
計	9,518,000	9,377,000	141,000		

令和4年度 後援会決算書

収入の部

単位：円

項 目	予算額	決算額	増△減	備 考
前 年 度 繰 越	1,796,305	1,796,305	0	
会 費	7,440,000	7,093,900	△346,100	1年次179人、2年次1人（振込手数料減）
雑 収 入	30	1,138	1,108	預金利息38円、立替金返金（事務費）
計	9,236,335	8,891,343	△344,992	

支出の部

単位：円

項 目	予算額	決算額	増△減	備 考	
会 議 費	100,000	0	100,000	総会及び役員会経費	
会 報 刊 行 費	300,000	295,900	4,100	後援会だより印刷及び発送	
就 職 対 策 費	1,300,000	693,990	606,010	就職対策雑誌購入等	
教育フィールド研究補助費	1,000,000	1,000,880	△880	教育フィールド研究補助（大学へ寄附）	
学 生 活 動 補 助 費	大学祭補助費	250,000	404,770	△154,770	大学祭ステージ設営等
	課外活動補助費	1,600,000	1,343,172	256,828	サークル活動、遠征等補助、楽器購入等
	地区体補助費	0	0	0	北海道地区体育大会参加補助
計	1,850,000	1,747,942	102,058		
学 生 厚 生 費	900,000	687,000	213,000	卒業記念品、同窓会入会費等	
学 生 函 書 費	700,000	700,000	0	学生教養図書費（大学へ寄附）	
学 生 健 康 診 断 費	750,000	700,880	49,120	学生定期健康診断費	
学 生 研 修 補 助 費	50,000	52,008	△2,008	新入生研修給食費	
学 生 環 境 整 備 費	1,400,000	0	1,400,000	学生応援プロジェクト終了のため執行なし	
国 際 交 流 費	300,000	300,000	0	国際交流事業資金（大学へ寄附）	
行 事 費	50,000	30,172	19,828	構内一斉清掃経費	
渉 外 費	100,000	33,320	66,680	教育関係機関等との連絡渉外費	
計	8,800,000	6,242,092	2,557,908		
事 務 費	50,000	42,020	7,980	封筒印刷等	
雑 費	50,000	10,220	39,780	協賛金等	
予 備 費	477,000	279,550	197,450	入学式会場借上げ等	
計	9,377,000	6,573,882	2,803,118		

収入 8,891,343円 - 支出 6,573,882円 = 残額・繰越 2,317,461円

令和6年度 釧路校年間行事予定表

月	日	曜日	行 事
4月	3日	水	入学式（釧路市生涯学習センターまなぼつと幣舞）
	4～8日	木・金・月	新入生ガイダンス（予定）
	9日	火	前期授業開始
6月	1日	土	創立記念日
7月	21日	日	オープンキャンパス
8月	2日	金	前期授業終了
	5日	月	夏季休業期間（～9月30日）
9月	下旬		9月卒業・修了生学位記授与式
10月	1日	火	後期授業開始
	18～20日	金・土・日	大学祭
12月	30日	月	冬季休業期間（～1月3日）
2月	3日	月	後期授業終了
	4日	火	学年末休業期間（～3月31日）
3月	15日	土	3月卒業・修了生学位記授与式



オープンキャンパスにおける体験授業の様子

令和5年度 後援会役員名簿

【学外・保護者等委員(敬称略)】

役員名	氏名	学年
会長	蛭田 眞一	
副会長	久保 伸二	
〃	工藤 浩司	4年
監査委員	二橋 潤一	
〃	福岡 真理子	
常任委員	金子 淳子	4年
〃	黒田 かおり	〃
〃	福浦 裕子	〃
常任委員	山内 隆志	3年
常任委員	濱下 直仁	2年
常任委員	北村 晋	1年

【学内委員】

役員名	氏名	役職
名誉会長	越川 茂樹	釧路校キャンパス長
常任委員	和地 輝仁	評議員
〃	小野 亮祐	〃、キャリア支援委員長 国際交流協力センター釧路校センター長
〃	佐野 比呂己	入試委員会(広報担当)
〃	酒井 多加志	学生委員長
〃	小野川 文子	学生生活サポート室長
理事長	大久保 康徳	事務長
庶務理事	坂本 志保美	係長(総務グループ)
〃	上野 祥広	〃(学術情報グループ)
会計理事	島田 勤	副事務長
〃	竹越 亮	係長(財務グループ)
企画理事	飯田 基樹	総括係長(教育支援グループ)
〃	及川 昇	係長(教育支援グループ)
〃	寺林 茜	〃

編集後記

◎3月19日(火)に学位記授与式を開催予定ですが、式終了後の後援会主催による卒業祝賀会は、昨年度に引き続き実施いたしません。なお、卒業生への記念品としてボールペンを贈ります。

◎令和6年度の後援会総会の実施方法は、昨今の情勢を鑑み書面協議により開催する予定です。詳細は大学ホームページ等によりおってお知らせします。



後援会だより (第27号)

北海道教育大学釧路校後援会

〒085-8580 北海道釧路市城山1丁目15番55号
TEL 0154-44-3212 ・ FAX 0154-44-3218